

新下関学校給食センターについて

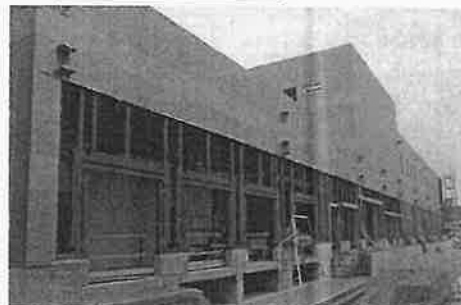
令和6年4月稼働予定の新下関学校給食センターについて、工事の進捗や、準備状況について報告するもの。

1. 工事の進捗状況について 進捗率（7月末）51.7%

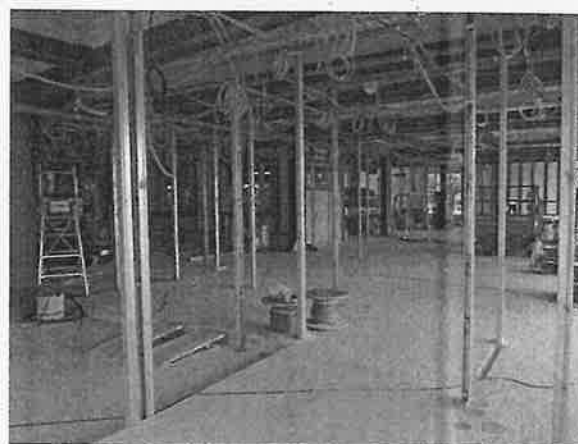
内外部仕上工事、電気設備、機械設備、厨房工事中 今後の予定 年内建物完成



東面及び南面

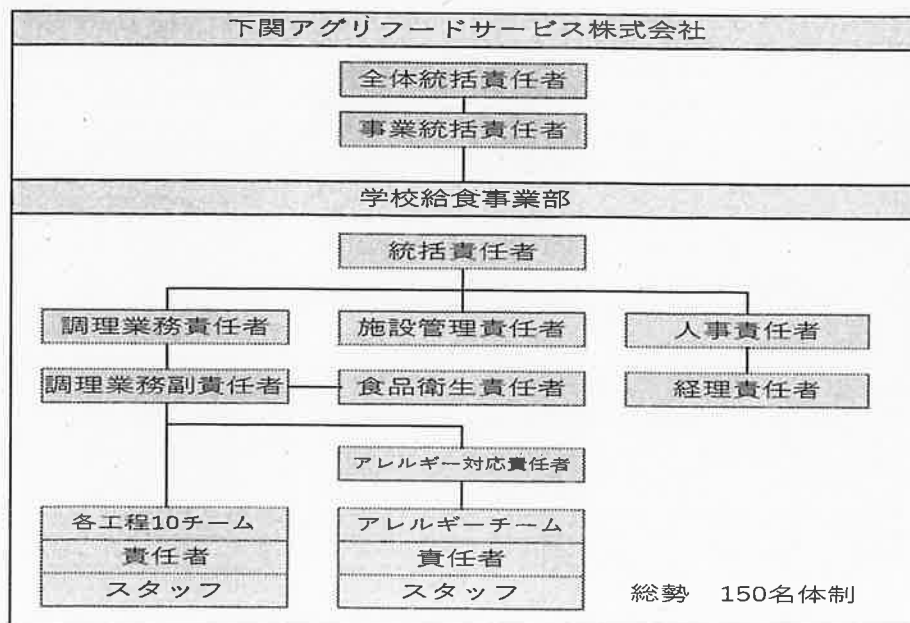


1階内部



2階内部

2. 運営体制について



3. 食物アレルギー対応について

3-1 除去食の提供

専用調理室及び専用調理員の配置により、以下の7品目について原因食物を除去した給食を提供（対象児童生徒 約100名）



3-2 食物アレルギー対応の基本的流れ

① 生活管理指導表の提出

保護者(対象児童生徒)は医療機関を受診し、生活管理指導表を書いてもらい、学校へ提出

② 面談(学校・保護者)

生活管理指導表に基づき、学校と保護者は面談を行う

③ 校内対応委員会における対応検討

面談結果をもとに、学校内に組織された食物アレルギー校内対応委員会にて個別の対応プランを検討

④ 除去食提供の同意(学校・保護者)

個別の対応プランについて、保護者は確認を行い、除去食提供同意書を学校に提出

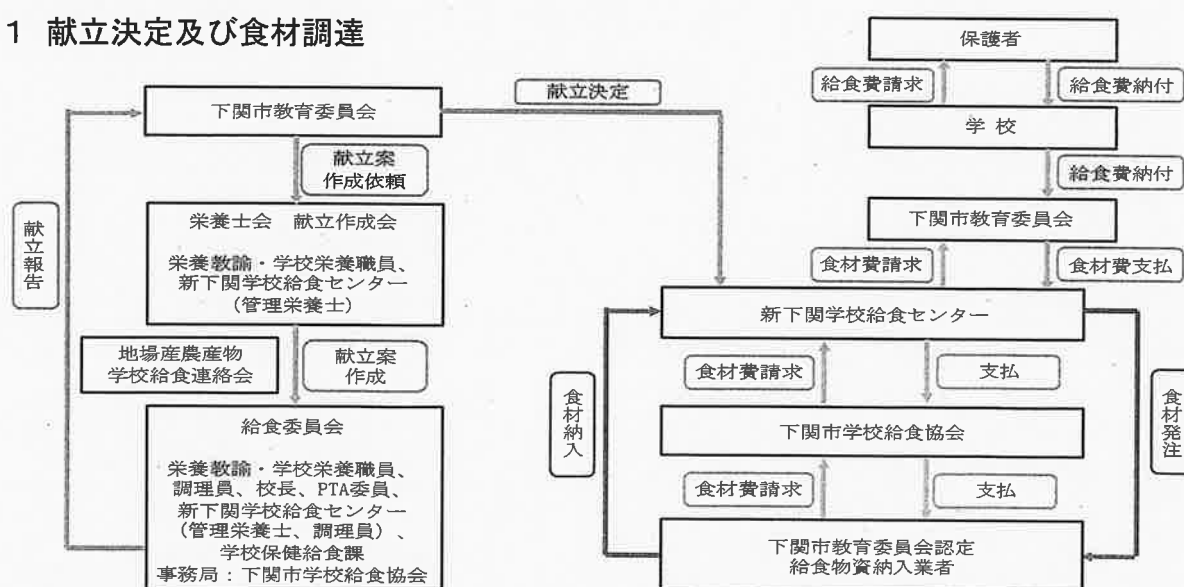
⑤ 食物アレルギー対応確認書(毎月)による除去食提供

保護者は、毎月のアレルギー対象食品使用献立一覧表等の情報に基づき、除去食の提供を受けるかどうかを確認し、対応確認書を学校に提出

新センターより除去食の提供

4. 献立及び食材調達について

4-1 献立決定及び食材調達



4-2 献立コース設定（本庁管内）

小学校は米飯を4回/週に変更

中学校・親子	火パン	東部中	檜崎小	木屋川中(親)	吉見小(親)	蓋井小	内日小(親)
		安岡中	岡枝小	吉田小(子)	吉見中(子)	蓋井中	内日中(親)
		菊川中	豊東小		吉母小(子)		
中部調理場	月パン	名陵中	向洋中	長成中	山の田中		
		日新中	川中中	垢田中	養治小		
新センター	水パン	文関小	向山小	本村小	川中小	文洋中	玄洋中
		名陵小	生野小	角倉小	川中西小	長府中	長成中
		関西小	西山小	向井小	垢田小	勝山中	
		桜山小	江浦小	勝山小	長府小	彦島中	
小学校A	木パン	小月小	清末小	王司小	熊野小		
小学校B	金パン	豊浦小	安岡小	山の田小	一の宮小		

5. 配送計画について

7台の配送トラックにて、食器及び食缶をコンテナに格納し配送

案	配 送 校			
1号車	生野小	名陵小	長成中	
2号車	勝山小	川中小①	文洋中	玄洋中
3号車	文関小	向山小	長府小	川中小②(回収のみ)
4号車	桜山小	西山小	彦島中	垢田小①
5号車	本村小	角倉小	向井小	
6号車	垢田小②	川中西小	勝山中	
7号車	関西小	江浦小	長府中	

コンテナサイズ：約 W1.3m×D0.8m×H1.6m

1 コンテナ最大8クラス分の食器又は食缶収納可能

6. 開業準備について

主体	事業	項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
下関市	新センター含 マニュアル	WG活動	マニュアル作成			検 証					
	受配校	アレルギー等 説明・対応	学校職員説明会	就学前健診	保護者対応			仮入学	面談		4月9日給食開始
アグリ	学校給食	建設工事					施設完成	厨房機器調整			
		調理・配送						座学研修	機器取扱研修・リハーサル		
	付帯事業	調理・配送					調整・リハーサル	製造開始			

※リハーサル日程（配送については別途計画）

	食数規模	実施時期	リハーサル内容
第1回	500食程度	3月中旬	調理
第2回	1,000食程度	3月下旬	調理
第3回	4,000食程度	4月第1週	調理・配送

報 告 事 項
令 和 5 年 8 月 2 4 日
文 化 財 保 護 課

日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」の総括評価・継続
審査の結果について

令和5年度における「日本遺産」の総括評価・継続審査の結果について令和5年7月14日付で、文化庁が発表しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1. 総括評価・継続審査の対象

平成29年に認定された日本遺産
「関門“ノスタルジック”海峡」を含む17件

2. 審査方法 令和5年3月 関門海峡日本遺産協議会より認定後6年間の取り組みに関する実績報告および、今後3か年の地域活性化計画の作成・提出。
令和5年5月 日本遺産審査・評価委員会担当委員による現地調査。
令和5年5月～7月 日本遺産審査・評価委員会における総括評価・継続審査の実施

3. 結果発表日 令和5年7月14日（金）文化庁結果発表

4. 審査結果 候補地域 認定地域なし（候補地域申請 1件）
認定継続 15件
内、重点支援地域 2件
※「関門“ノスタルジック”海峡」は認定継続
再審査 2件
年内目途に再審査結果を発表
詳細 別添資料1 参照
5. 個別評価 別添資料2 参照
6. 参考 別添資料3 日本遺産を通じた地域活性化計画について（実績報告・地域活性化計画 抜粋）

報道発表



令和 5 年 7 月 14 日

令和 5 年度における「日本遺産」の候補地域の認定審査及び 総括評価・継続審査の結果を発表します

- 「日本遺産審査・評価委員会」における審議を経て、令和 5 年度における「日本遺産」の候補地域の認定審査及び平成 29 年度に認定された「日本遺産」の総括評価・継続審査についての結果を発表します。

1. 令和 5 年度「候補地域」の認定について

- 「日本遺産」として認定する候補となり得る地域として 1 月に募集を行った「候補地域」については、1 件の申請がありましたが、「日本遺産審査・評価委員会」における審議を経て、令和 5 年度における「認定地域はなし」となりました。

2. 平成 29 年度に認定された「日本遺産」の総括評価・継続審査について

- 平成 29 年度に認定された「日本遺産」17 件について、同委員会における総括評価・継続審査を経て、15 件を認定継続とし、うち 2 件を他の地域のモデルとなる地域として「重点支援地域」に選定しました。

2 件については再審査を行うこととなりましたので、年内を目途に再審査結果を発表します。

詳しくは、以下の資料を参照願います。

- 別紙 1 令和 5 年度「日本遺産（Japan Heritage）」候補地域申請一覧及び結果
 別紙 2－1 平成 29 年度認定日本遺産総括評価・継続審査結果一覧
 別紙 2－2 平成 29 年度認定日本遺産総括評価・継続審査結果

＜担当＞ 文化庁参事官（文化拠点担当）
 参事官 磯野
 参事官補佐 高橋
 係長 田村
 電話：03-5253-4111（代表）
 03-6734-4909（直通）

令和5年度「日本遺産(Japan Heritage)」候補地域申請一覧及び結果

別紙 1

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ふりがな
			ストーリーのタイトル
1	鹿児島県	◎薩摩川内市、鹿屋市、霧島市、南さつま市	つくしのひむかのこうけいーかささのみやとじんだいさんさんりょうーしんわのたようせい
			筑紫の日向の神景～笠狭宮と神代三山陵～神話の多様性

※令和5年度「日本遺産(Japan Heritage)」候補地域は認定なし

	ストーリー 番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリー
重点支援地域	42	滋賀県、三重県	三重県(伊賀市)、滋賀県(◎甲賀市)	忍びの里 伊賀・甲賀 ーリアル忍者を求めてー
	51	高知県	奈半利町、田野町、◎安田町、北川村、馬路村	森林鉄道から日本一のゆずロードへ ーゆずが香り彩る南国土佐、中芸地域の景観と食文化ー
認定地域	39	北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、香川県	北海道、青森県、秋田県、山形県(◎酒田市)、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、香川県 (各道府県内49市町)	荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～
	40	山形県	鶴岡市	サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ
	43	京都府	◎京都府(宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町)	300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊
	44	大阪府、奈良県	◎大阪府(大阪市、堺市、松原市、羽曳野市、太子町)、奈良県(葛城市、大和高田市、橿原市、桜井市、明日香村)	1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」 ～竹内街道・横大路(大道)～
	45	兵庫県	姫路市、福崎町、市川町、神河町、◎朝来市、養父市	播磨貫く、銀の馬車道 鉱石の道 ～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～
	46	和歌山県	◎和歌山県(和歌山市、海南市)	絶景の宝庫 和歌の浦
	47	和歌山県	湯浅町	「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅
	48	島根県	出雲市	日が沈む聖地出雲 ～神が創り出した地の夕日を巡る～
	49	岡山県	倉敷市	一輪の綿花から始まる倉敷物語 ～和と洋が織りなす繊維のまち～
	50	福井県、愛知県、滋賀県、兵庫県、岡山県	福井県(越前町)、愛知県(瀬戸市、常滑市)、滋賀県(甲賀市)、兵庫県(丹波篠山市)、岡山県(◎備前市)	きっと恋する六古窯 ー日本生まれ日本育ちのやきもの産地ー
	52	山口県、福岡県	山口県(下関市)、福岡県(◎北九州市)	関門「ノスタルジック」海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～
	53	熊本県	山鹿市、玉名市、菊池市、◎和水町	米作り、二千年にわたる大地の記憶 ～菊池川流域「今昔『水稲』物語」～
	54	大分県	◎中津市、玖珠町	やばけい遊覧 ～大地に描いた山水絵巻の道をゆく～
再審査	38	北海道	江差町	江差の五月は江戸にもない ーニシンの繁栄が息づく町ー
	41	埼玉県	行田市	和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」について、目標を達成していないものの、「宿泊者」については、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前において、目標を達成しており、全体として概ね目標を達成できている。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「アンケート調査による「地域の文化に愛着を感じる」の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「公式テキスト（広告）、ホームページ（バナー広告）等の広告協賛やイベントへの協賛企業数」及び「公式テキスト（広告）、ホームページ（バナー広告）等の広告協賛やイベントへの協賛金額」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

評価		評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可 ■ 大学生や民間事業者など、様々な立場の人を巻き込んだ組織づくりを行っており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価	可 ■ 関門海峡の知名度や観光資源は一定程度あるほか、戦略立案に連動したマーケティング調査を進めており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価	可 ■ ガイド講座の実施や、北九州市と下関市の大学との連携、学生が主体となるイベント実施など、継続した取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可 ■ 案内板・説明板の整備など、観光地として地域の魅力を伝えるための基礎的な整備が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	可 ■ ストーリーを体験するためのツアー造成や、日本遺産関連商品の開発など、観光事業化の基礎的な取組が行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価	可 ■ 日本遺産活用に係るシンポジウムや住民向け講座、学校における郷土学習の実施、また、大学生を巻き込むことで若者に自分事として日本遺産を伝えるための仕掛けづくりが行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可 ■ 公式ホームページやSNSの整備、若者をターゲットとしたプロモーションの実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価		可 ■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

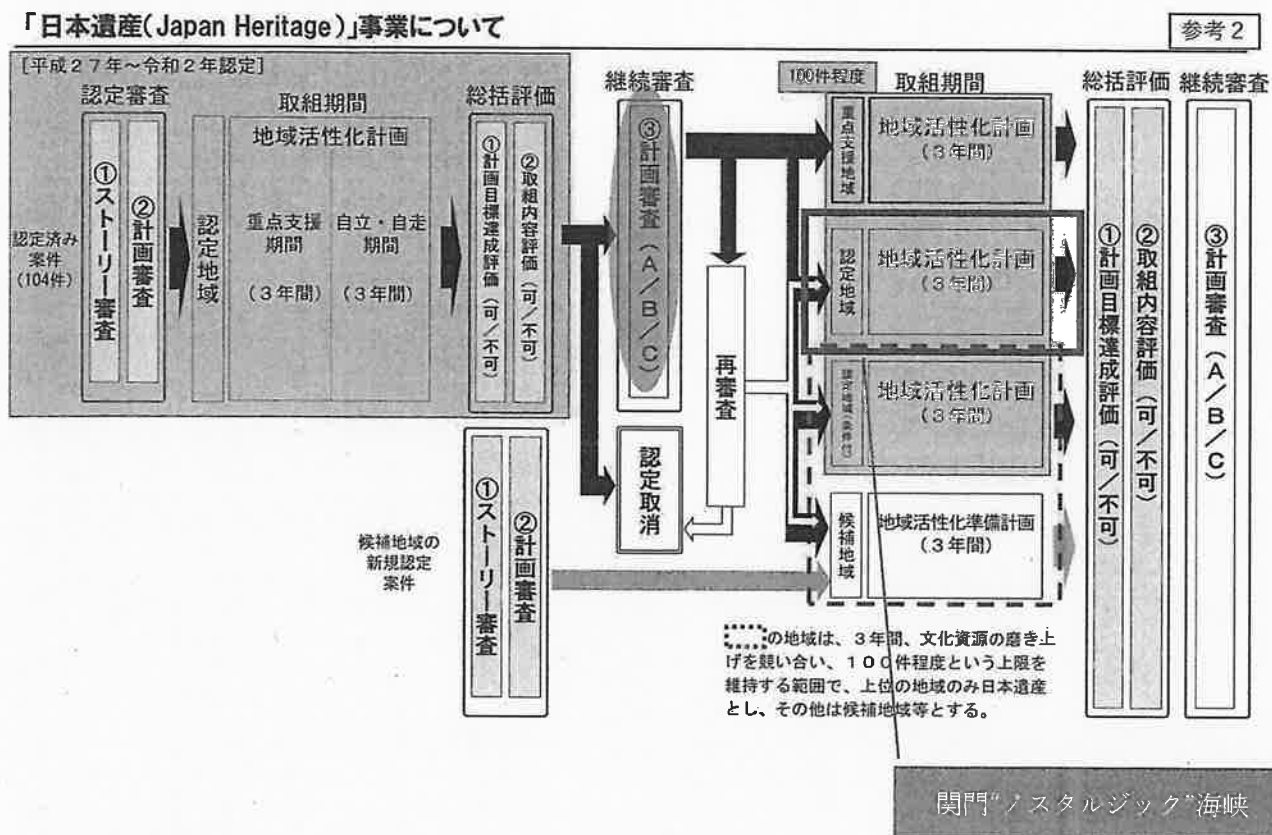
日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価理由
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについで将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 目標値の設定が少し消極的であるものの、解説やホームページの多言語化、サブストーリーの発掘、新たな周遊ルートの開発、交通事業者等と連携した旅行商品の造成など、3年間で取り組み事業について、一定の方向性は示されており、評価できる。 ■ 大学生の力を借りるなど工夫した取組が考えられているが、ビジョンや施策内容が抽象的で伝わりにくいため、関係者を巻き込むためにはブラッシュアップが必要であり、更なる検討・具体化が望まれる。 ■ 日本遺産ブランドの活用が既存の一般的な観光事業の枠に留まっており、日本遺産のストーリーで伝えるべきことは何か、ビジョン及び事業について、更なる検討・具体化が望ましい。 ■ ビジョンは一定描けているものの、事業内容に関して明確なエリア設定とコンセンサス設定を行うことが望ましい。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 日本遺産の活用による経済効果を目指す一方、商品数、旅行商品数等の目標値が低く、民間の活力を活かすという方向性が明確になっているとは言えない。両地域の歴史・文化的個性を明確にした上で、棲み分けて連携していくといった方向性を検討することが望ましい。 ■ 協議会の会長が学者である点は、他の日本遺産と比較して特徴的である。また、大学生が委員を務めるなど、若者視点を取り入れている点は評価できる。 ■ 観光協会、交通事業者、旅行会社等の民間事業者と連携する体制となっているほか、金融機関や大学等も含め、地域の多様な主体と連携する体制である点は評価できる。 ■ 組織の自立・自走が意識されているものの、まだ具体的ではなく、更なる検討・具体化が望ましい。
総合評価	■ 関門海峡の知名度や観光資源は既に一定のレベルにあるため、日本遺産を活かして地域産業の価値を上げていくことが期待される。 ■ 観光や文化以外の面での両市の連携は歴史があるが、それぞれの歴史面・文化面の相違から、これらをどのように括り、事業として実質的な連携につなげていくのかという戦略について、更なる検討・具体化が望ましい。 ■ 構成文化財である近代建築の活用が重要であり、活用に向けた具体的な計画を立案していくことが望ましい。

評価結果	認定継続
------	------

日本遺産を通じた地域活性化計画について

- 平成 29 年度日本遺産認定申請に際し、認定後の具体的な活用策として、6 か年の取組期間として地域活性化計画を策定。
(このうち、前半 3 か年(平成 29 年度～平成 31 年度)については、重点支援期間として日本遺産魅力発信推進事業等の国庫補助事業を実施。)
- 最終年度となる令和 4 年度は、実績報告と、次期地域活性化計画の作成、提出が求められ、令和 5 年 3 月に文化庁へ提出。
- これを受けて、令和 5 年度に国(日本遺産審査・評価委員会)による総括評価を受け、
「認定継続」の評価を得た。



■実績報告書(概要)

- 報告期間:平成 29 年度(2017)～令和 4 年度(2022)

【指標目標】(抜粋)

目標(文化庁で設定)	指標(地域で設定)	指標(目標値)	
		2017 年度	2022年度
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	A 観光客入込数	1,912	2,326
	B 外国人観光客数	設定無し	設定無し
	C 宿泊者数	262	318

(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	A 地域の文化に誇りを感じる住民の割合	100	115
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確率	A 日本遺産への協力団体数	10	35
	B その他協賛金額等	100,000	500,000

※単位: 万人、%、円

【個別評価】(抜粋)

目標(文化庁で設定)	指標(地域で設定)	実績値(2022 年度) 年度が異なるものは下段に記載
(1) 組織整備 ・リーダーシップの発揮 ・ボトムアップの仕組 ・地域間連携の仕組	A 日本遺産関連で協働する団体数	36 団体
	B 日本遺産イベントへの協賛金額	739,540 円
(2) 戦略立案 ・地域コンセプト ・長期的戦略 ・マーケティング調査	A 地域の文化に愛着を感じる割合	62%
	B 関門“ノスタルジック”海峡の認知度(地域内)	14%
(3) 人材育成 ・地域プロデューサー ・地域プレーヤー(ガイド人材を含む)	A 協働した団体数	7 団体
	B 協働したプレーヤー数	延べ 90 人
	C 協働したイベント数	7 件
(4) 整備 ・ストーリーを伝える仕組み ・サブストーリーの広がり ・構成文化財の継承	A 構成文化財を音連れた時の満足度の割合	81% (調査年度 2019 年)
	B 宿泊者数	183 万人 (調査年度 2021 年)
(5) 観光事業化 ・ストーリーの体験 ・観光インフラ ・商品化の体制	A 北九州市、下関市の観光客入込数	1,267 万人 (調査年度 2021 年)
	B 北九州市、下関市宿泊者数	183 万人 (調査年度 2021 年)
(6) 普及啓発 ・学校を通じた普及啓発 ・地域での高い認知度	A 関門“ノスタルジック”海峡の講座受講者数	69 人
	B 日本遺産(制度)を「知っている」「聞いたことがある」人の割合	73.4% (調査年度 2021 年)
	C 民間主催のイベント件数	5 件
(7) 情報編集・発信 ・継続的な情報発信体制 ・顧客とのエンゲージメント ・マーケティング戦略	A 関門“ノスタルジック”海峡公式 HP の PV 数	28.5 万
	B 公式 SNS # のすたる関門の投稿数	1.7 万
	C 公式 SNS フォロワー数	2501 件

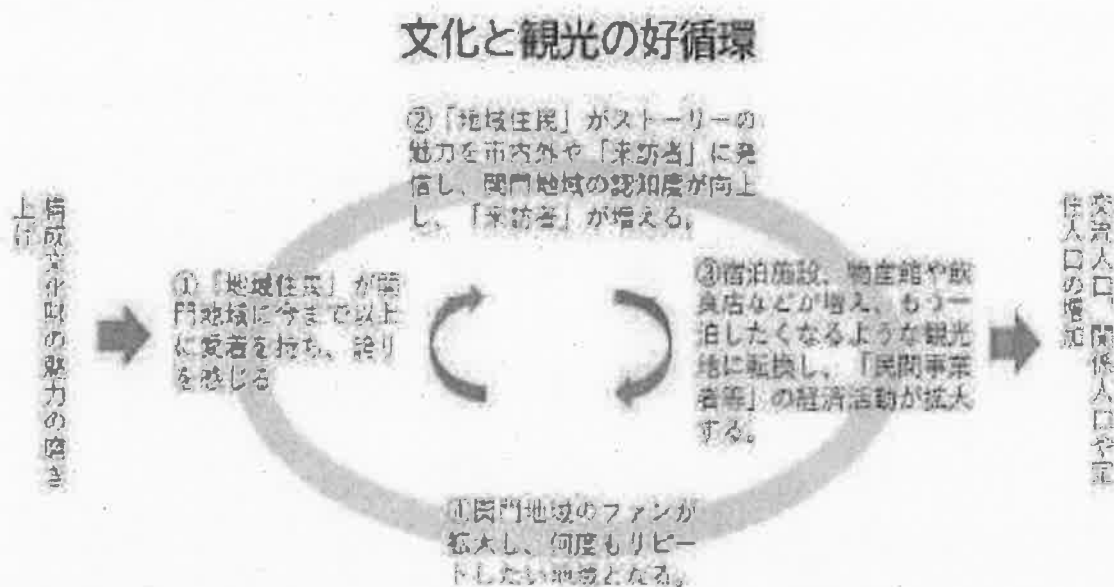
■地域活性化計画(概要)

・ 実施期間:令和5年度(2023)～令和7年度(2025)

(1)将来像(ビジョン)

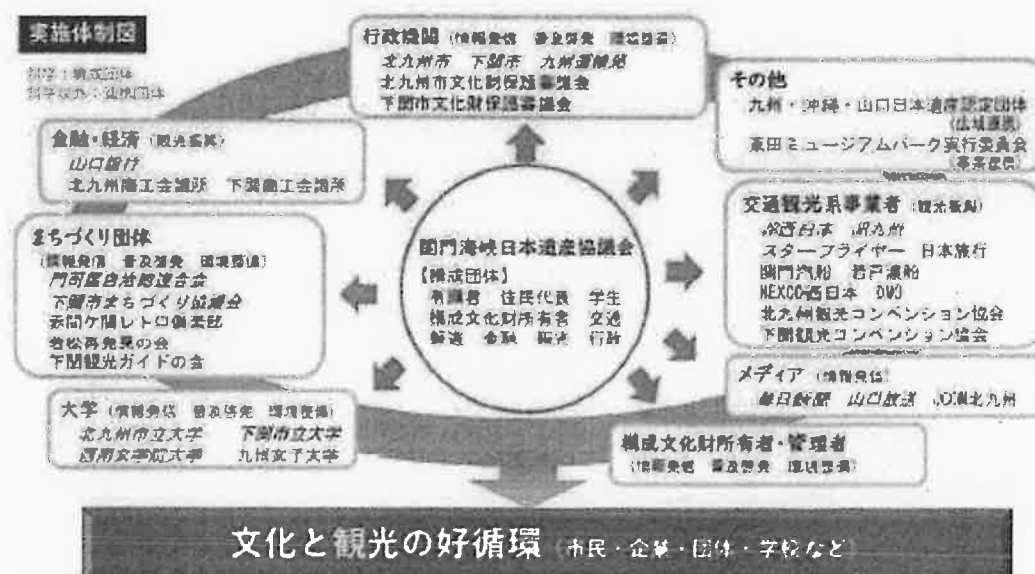
【地域のあるべき姿】

- ① 「地域住民」が関門地域に今まで以上に愛着を持ち誇りを感じる
- ② 「地域住民」がストーリーの魅力を市内外や「来訪者」に発信し、関門地域の認知度が向上し、「来訪者」が増える。
- ③ 宿泊施設、物産館、飲食店等が増え、もう一泊したくなるような観光地になり、「民間事業者等」の経済活動が拡大する。
- ④ 関門地域のファンが拡大し、何度もリピートしたい地域となる。



(2)実施体制

※「(1)将来像」実現に向けた実施体制



(3) 地域活性化計画における目標

目標(文化庁で設定)	指標(地域で設定)	目標(2025 年度)
① ストーリーに触れ、魅力を体験する	A 観光客入込数	664 万人 (2019 実績)
	B SNS 投稿数	延べ 2.0 万件
② ストーリーが誇りに思われる	A 関門“ノスタルジック”海峡に誇りや愛着を感じる人の割合	63.5%
③ 日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じる	A 関門“ノスタルジック”海峡を活用した商品数	2件
	B 関門“ノスタルジック”海峡を活用した旅行商品数	4 件(累計)
④ ストーリー・構成文化財の持続的な保存・活用が行われる	A 公開活用できている構成文化財の件数	28 件(42 件中)
⑤ 経済波及効果も含め広く波及効果が生じる	A 地域の宿泊者数	273 万人 (2019 実績)

(4) 地域活性化のための取組の概要

取り組みの柱1 「関門市誕生！」広域観光の基盤づくり」

(基盤整備、人材育成)

取り組みの柱2 「何度も来たくなる街へ！構成文化財の魅力の発掘と磨き上げ」

(基盤整備 観光進行)

取り組みの柱3 「市民がインフルエンサー！シビックプライドの醸成」

(普及啓発、情報発信)

(5) 地域活性化のために行う事業

【基盤整備】 構成文化財の発掘、サブストーリーの展開と新たな周遊ルートの開発等

・2025年度目標値:構成文化財の発掘・環境整備及びサブストーリーの発掘 1 件

【人材育成】 観光ボランティアのブラッシュアップ、ストーリーの語り手の育成など

・2025年度目標値:人材育成講座の受講者数 60 名

【観光進行】 モデルルートの磨き上げ、+ α を組み合わせた観光 PR など

・2025 年度目標値:旅行商品造成数 1 件

【普及啓発】 教育機関とコラボした普及啓発、お互いの地域を学びあう機会の創出など

・2025 年度目標値:小学生が日本遺産について学ぶ機会の創出 4 件(累計)

【情報発信】 SNS を活用した情報発信、HPやテキスト

・2025 年度目標値: SNS の「#のすたる関門」「#関門ノスタルジック海峡」の投稿数延べ 2.0 万件